

睡眠姦の話のCG集。

基本CG10枚

差分13枚

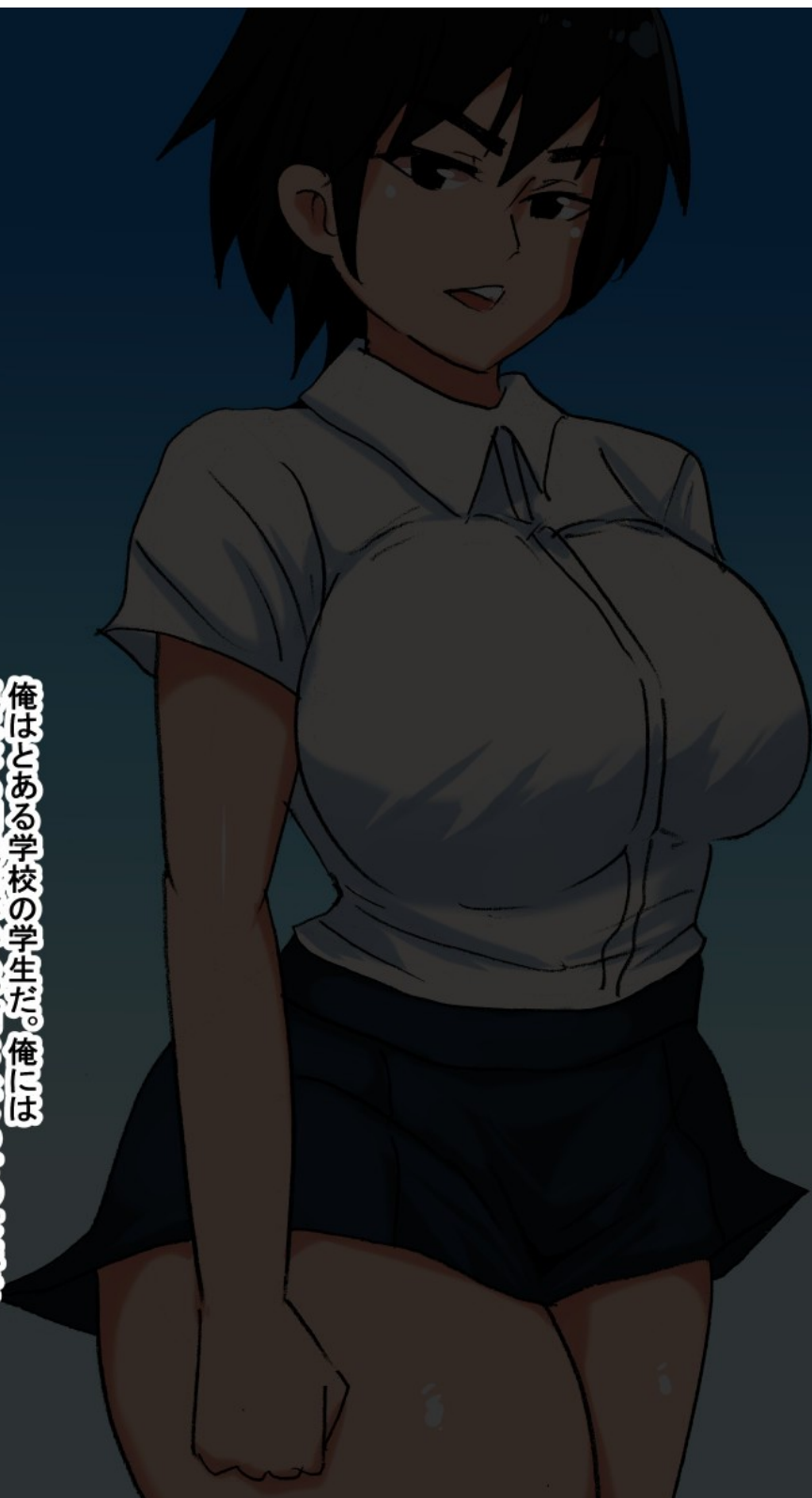
11



「はあはあ、ほら、OOさん、返事
しないと入れちゃうよ、」

睡眠姦の話。

俺はとある学校の学生だ。俺には
気になる同級生がいる。何としてもその女性を
抱きたいと考えている。そのために、







「よう！元気か？」
「あ、お、おはようございます。」
「あつはは、おかしな奴だな。同級生に何敬語なんか使ってるんだよ。」
「そ、そうだな。ごめん。」
彼女は○○さん。バレー部に所属している男勝り、ボーイッシュな女性だ。
俺は彼女のことを性的な目で見てしまっている、。。。。



今日は俺の家でゲームをするということになった。
彼女はこんな俺を信用している。だが、彼女は知らない。
俺が○○さんのことをどんなに犯したいと思っているか、……。
その鍛えられたムチムチでいやらしい体にむしやぶりたいと思っているか、……。





その後、俺の家で○○さんとゲームをした。
「あー、また負けた！あんた、本当に強いなー！」
「いやいや、運がよかっただけだよ。」
「何言ってるんだよ。手抜いてるんのバレてんだよ。」
「そうやって他愛もない雑談をしている隙を見て、俺は
彼女の飲み物に睡眠薬を混ぜた、、、、。」





「うん。」
「○○さんどうしたの？眠いの？」
「ん、ああ、ちよつとな。」
「○○さんは目を閉じて眠そうにしていた。どうやら効果が
現れ始めたようだ。」
「ごめん、ちよつと寝かせて。」
そして、そのままベッドに横たわった。





「○○さん、本当に寝ちゃったの？」
「すっすっす。」
「返事がない。どうやら完全に熟睡してしまったようだ。」
となればやることは二つしかない。
俺は、○○さんの体にむしゃぶりついた……。







「はあ、はあ、。こ、これが○○さんの、。」
俺は○○さんの衣服を脱がすと、○○さんの胸を
揉みしだいた、。。
「はあ、はあ、。○○さんの胸、す、いいかい、。」
俺は○○さんが全く起きて「ないことをいい」と、
ひたすら○○さんの胸を揉み続けた、。。



「んっ♡んぐっ♡んぶっ♡ん」っ♡んぐっ♡」
「ああ、○○さんの口の中、き、気持ちよすぎる、ー!!」
俺は○○さんの口の中に俺のモノを入れると、アソコの中の
ように激しく腰を打ち付けて犯し続けた、。
「あ、ああっ、!!で、出る!!」



「あぐっ……」







俺は自分のモノを〇〇さんのアソコに擦り付けた、。
「はあ、はあ、ねえ〇〇さん、入れていい？
俺の、〇〇さんのアソコの中に入れていい？返事しないと
いれちゃうよ。」
当然〇〇さんの返事はない。俺は〇〇さんの中に
ねじ込んだ、。



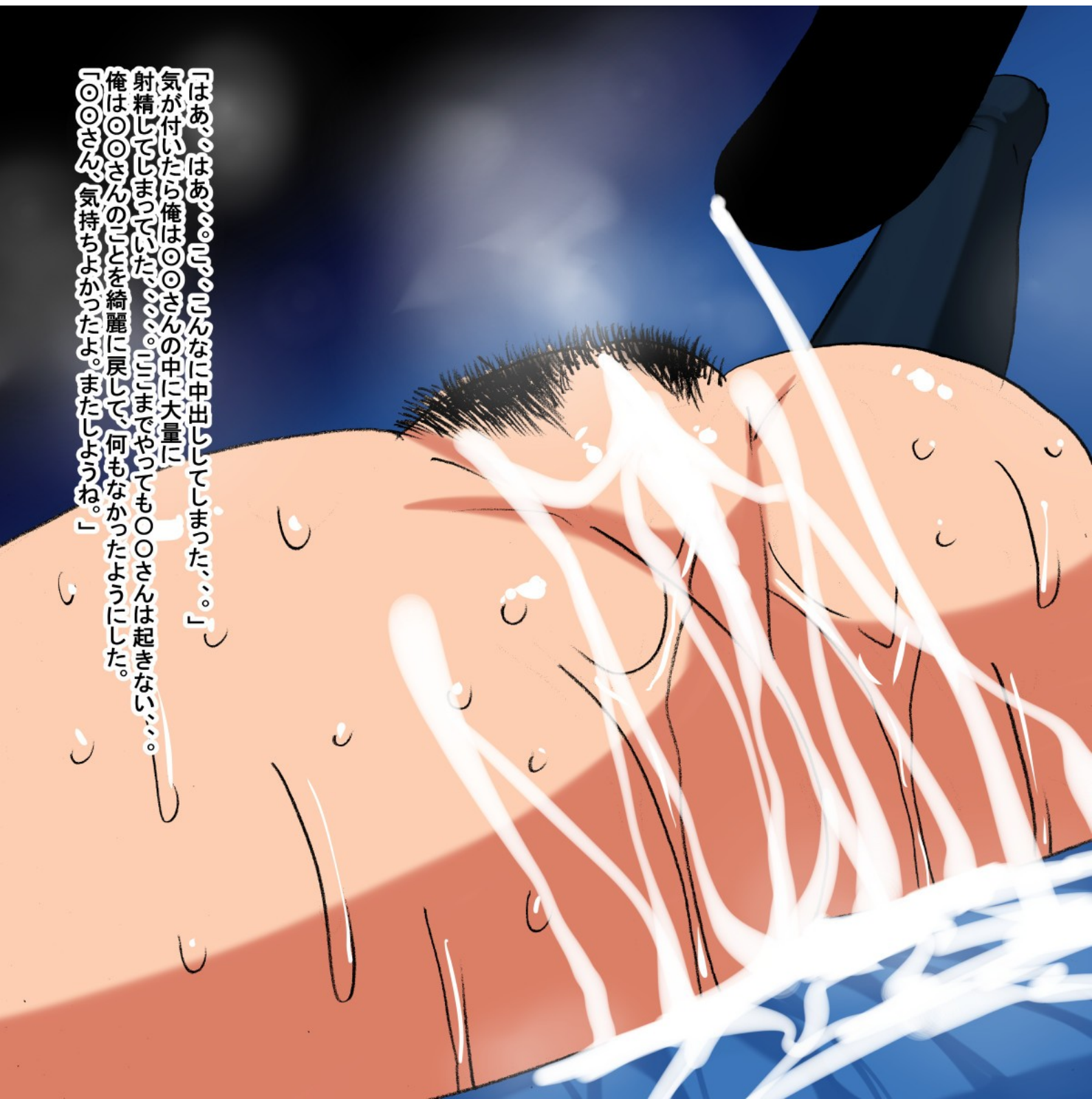
「んっ♡はっ♡んんっ♡」
「ああ、き、気持ちいい、○○さん、気持ちいいよ。
○○さんの鍛えられたアソコ、最高だよ。」
「つい挿入。俺は○○さんのアソコに突き入れ、腰を
打ち付け続けた。あまりの気持ちよさに俺は
いつ射精してもおかしくない状態になった。
「あ、や、やばい、で、出る!!」」







「はあ、はあ。○○○○こんなに中出ししてしまった。」
「気が付いたら俺は○○○○さんの中に大量に
射精してしまっていた。○○○○ここまでやっても○○さんは起きない。○○
俺は○○○○さんのことを綺麗に戻して、何もなかったようにした。
「○○○○さん、気持ちよかったよ。またしようね。」



この度は当作品をご購入くださり、ありがとうございます。

睡眠姦の話です。100円タイプの作品です。同時に公開された作品の関連作品となります。もし気になる方がおりましたらご確認ください。合わせて6作品を公開予定です。s

睡眠姦関連作品(公開予定含)
ep
eq
er
es
ji
jj
j05
jl
jm
jn
s

当サークルホームページ等専用のページを開設致しました。
これらにおいても創作活動を行っておりますので、
よろしければご確認ください。

Blog:<https://sssss.fc2.xxx/>

Pixiv:<https://www.pixiv.net/users/46460147>

Ci-en:<https://ci-en.net/creator/4749>

Fantia:<https://fantia.jp/fanclubs/27877>

※当サークルの作品は全てフィクションです。実際に行うと法律によって処罰される可能性があります。

※当サークルの全作品の無断転載(購入されてない方が閲覧できるようにする)等の行為はご遠慮願います。ご協力の程、よろしくお願いします。